

横浜市立瀬ヶ崎小学校 学校便り

せがさきの風

大きな朝日さしのぼる 希望と愛の花が咲く

〒236-0037 横浜市中区金沢区六浦車三丁目2番1号

TEL 781-2446・2447 FAX 701-4892

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/>

メールアドレス y3segasa@edu.city.yokohama.jp



6月号
2020(令和2)年
6月1日発行

待ってたよ!!

学校長 梅田 比奈子

4月7日から休校だった学校が始まります。長い、長い休校の日々。友達に会ったり、教室で学んだりできない中で、不安ばかりが募った子どもたちもたくさんいると思います。私たち、教職員もみなさんに会える日を、みなさんと学べる日を心から待っていました。「早く、みんなと会いたい!!」その思いでいっぱいです。『ガーデンボランティアすみれ』の会の方たちは、みんなが来た時に、学校がきれいになっているように・・・と休校中も花壇の整備をしてくれました。ほかのボランティアの方たちも瀬小の子どもたちに会える日を心待ちにしていると思います。



緊急事態宣言が解除され、少しずつ、日常が戻ろうとしていますが、学校では、子どもたちの安全を守るために様々な事を検討してきました。「手を洗う場所は、学級でわかる」「机は、必要以上に出さない」「毎日の消毒」・・・本当に多岐にわたって考えてきました。そして、同時に、子どもたちに、コロナウィルスのこと、感染予防のことも学んでもらい、一人ひとりが気を付けていくことを意識してもらえるようにと計画しました。また、校医の青木先生や薬剤師の七里先生からも様々なアドバイスをいただき、心強く思っています。子どもたちの身体だけでなく、心の安全・安心も守っていけるよう、教職員みんなで気持ちをひとつにして取り組んでいきたいと思っています。

休校の間、世の中では、様々なことがありました。本当に大変な中、患者の命を助けるために昼夜なく働いていた医療従事者の方、必要なものを届けるために日夜走り回った物流に携わる方、介護や保育・福祉に関わる方、家庭で仕事をしたり、生活を支えたりしている方、その他、一人ひとりが自分のできることを精一杯取り組んできたのではないかと思います。そして、その不安と緊張の中でも誰かを思い、行動を起こしたり、気持ちを伝えたりする姿にもたくさん出会いました。本当に人って素晴らしいと思います。ただ、一方で、人に対して、誹謗中傷をしたり、偏見をもったりすることも伝えられました。

先日、新聞に石山春平さんの記事が載りました。石山さんは、ハンセン病の回復者で、本校にもお話しに来てくださり、卒業式にも参加して下さったことがある方です。学校を追われ、友達、家族とも離れた日々。15年間に及ぶ療養所生活。そんな中で、石山さんは、今回の状況をご自身の歴史と重ね合わせ、思いを語っていました。差別の中で、様々な悲しみやつらさを経験してきた石山さん。でも、その石山さんを支えたのも多くの人であったことを記事を読んで強く感じました。瀬ヶ崎で大切にしている水俣の学習。そこでも、患者の杉本栄子さんは、同じように語っていました。今、私は、どの立場にいるのか、おそれず、冷静に、正しい知識をもって判断しているか、人を支える自分であるか・・・自分を問い直しながら、今だからこそ、「人っていいな。」「だれかと関わると素敵な事だな。」と感じられるような学校再開をしていきたいと思っています。そして、6月1日。笑顔で「待ってたよ!!」と子どもたちに声をかけられることを今から、楽しみにしています。